

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録（要旨）

■開催日時 令和4年7月19日(火) 19:00～20:55

■開催会場 中央公民館 参加者数 25名

意見	市の考え方
<p>○大王谷運動公園水泳場の廃止</p> <p>現在の市体育センターは老朽化しているとのことだが、どうして、大王谷運動公園の水泳場を廃止して、総合体育館をつくることになったのか。</p>	<p>総合体育館の建設場所については、基本構想において、市街地と大王谷運動公園に整備する場合の経済性、防災性、利便性等の視点から、比較検討を行い、用地の確保や市の財政負担、津波などの災害時の対応等を総合的に判断し、大王谷運動公園に整備することとしました。</p> <p>大王谷運動公園の水泳場は、築40年が経過し、老朽化が進み、大規模な改修が必要なことから、小中学校のプールの活用を検討しています。</p> <p>総合体育館は、スポーツだけではなく、防災拠点としても整備し、中長期の避難所とします。また、陸上競技場はヘリポートになりますので、物資の輸送や負傷者の搬送も可能です。市民の生命と財産を守るということを一番に考えて、場所の選定を行いました。</p>
<p>○総合体育館アンケート</p> <p>総合体育館に関するアンケートで賛成の方が多かったとのことだが、回収率は低い。どのように考えているのか。</p>	<p>アンケートについては、統計学的には高い信頼度で市民の意見を反映しているものと認識しています。</p> <p>総合体育館の必要性、建設場所、規模について、約7割の方が基本構想で示した市の考え方に賛成していただけたものと考えています。</p> <p>また、総合体育館整備基本計画のパブリックコメントでも早急に整備してほしいという意見も多くいただきました。そのような意見も尊重して、整備を進めていきます。</p>
<p>○総合体育館整備</p> <p>総合体育館ができることについて、自分の周りには賛成の人がいないが、なぜ進んでいるのか。大王谷への利便性や動線を考えると日向市駅周辺の方がいいのではないのか。</p>	<p>令和元年に日向市総合体育館整備基本構想を策定し、令和4年4月に整備基本計画を策定しました。</p> <p>それぞれの過程において、パブリックコメント、市民説明会や議会への説明を行い、令和3年には市民アンケート等も実施し、約7割の方から賛成いただき整備を進めています。</p> <p>建設場所については、市街地と大王谷運動公園に整備する場合の経済性、防災性、利便性等の視点から、比較検討を行い、用地の確保や市の財政負担、津波などの災害時の対応等を総合的に判断して、大王谷運動公園に整備することとしました。今後も丁寧な説明に努めます。</p>

意見	市の考え方
<p>○農業振興（米問題）</p> <p>農業は、肥料、ガソリン、農薬等、物価が上がり大変である。遊休地も多い。米作りは、経費もかかり、作ればくほど赤字である。何か対策はないか。</p>	<p>水稲については、米の消費が減少し価格も低迷していることから、国は飼料用稲の作付けなど、水田活用の直払交付金による新規需用米等に対する支援を行っています。</p> <p>しかしながら、主食用米生産に対する支援策が求められていることから、市長会等を通じて国に対する補助金等の要望活動を行っています。</p>
<p>○河川遊泳への見回り</p> <p>夏休みになると、本谷川に泳ぎにくる高校生等が増える。事故が起きる前に、立て看板や警察の巡回など、対応してもらえないか。</p>	<p>学生、児童に対して、河川プール等の指定場所で遊泳するよう学校と連携して注意指導し、夏休み期間中は、警察及び学校等と連携して河川パトロールを行い、指定された場所以外での遊泳者に対する声かけ、指導を実施します。</p>
<p>○西川内市道の拡張</p> <p>西川内市道の拡張はいつから行うのか。</p>	<p>市道富高線の交差点から富高保育園前橋梁迄の約 120mにおいて令和4年度から道路拡幅工事に着手し、令和5年度の完成を目指します。</p>
<p>○前回座談会後の対応</p> <p>市のホームページで前回の座談会の記録が掲載されているが、出された意見の中で、実際行ったものや進行中のものがあれば教えていただきたい。</p>	<p>まちづくり座談会で出された意見については、その後の対応状況を含めて、ホームページで公表しています。</p>
<p>○図書館整備</p> <p>少子化の影響で児童生徒が減少しているが、日向市の未来予想図を考え、つくっていくのは子どもたちである。そのためには、図書館の新設が最優先ではないか。</p>	<p>現在の図書館は築55年が経過し老朽化が進んでいることや、施設が手狭で十分な蔵書スペースが確保できないなどの課題があることから、令和3年2月に策定した「第2次日向市総合計画・後期基本計画」の中で、新たな交流拠点として、複合的な機能を備えた図書館の整備について、調査研究に取り組むことを明記しています。</p> <p>読書は非常に重要であると捉えているので、今後のまちづくりを見据えた、図書館の整備の在り方を考えていきます。</p> <p>図書館の事業計画の策定や建て替え時期などの具体的なことについては、他の公共施設整備事業の進捗状況を考慮するとともに、建設場所については、市民ニーズの把握に努めながら、利便性の高い場所への整備に向けて検討していきたいと考えています。</p> <p>なお、今年度から移動図書館も事業化しているため、本とふれあう時間をさらに作っていただきたいと考えています。</p>

意見	市の考え方
<p>○スケボーパークの整備</p> <p>スケートボードが駅の高架下ではできなくなり、その他の場所を探して、宮崎や延岡まで行っている。東京などと環境が違いすぎる。スケボーをしている子どもも多く、オリンピックへの夢を持つ子どももいる。新開公園など、身近な場所でスケボーパークをつくってほしい。</p>	<p>スケートボードの整備については、東京オリンピックの正式種目にもなり、若い世代に人気の出ているストリートスポーツの一つであると認識しています。</p> <p>スケボーパークの整備について、現時点では、議論ができていないことから、他自治体の設置状況等を踏まえ、調査・研究していきたいと考えています。</p>
<p>○新型コロナワクチン デメリット</p> <p>新型コロナワクチンについて、子どもの被害も出ていると聞いているが、国も情報を出していない。デメリットも出して、ワクチンを打つか打たないかの選択権を与えてほしい。</p>	<p>コロナ感染症について、感染者に占める小児の割合が高くなっており、全国的には小児の重症化例も増えています。小児ワクチンについては、副反応が大人と比べ軽い傾向にあり、コロナ感染症の発症予防、重症化予防のメリットが副反応のデメリットを大きく上回るため、9月から努力義務が適用され、3回目接種も実施されることとなりました。</p> <p>今後も引き続き、国からの情報に注視しながら、児童生徒及び保護者が自ら接種の判断ができるよう、ワクチンの効果や副反応、接種に関する相談先の情報等について、市ホームページや学校を介した案内等を通じ、十分に周知していきます。</p>
<p>○座談会資料の提供</p> <p>スライドの資料を配布してほしい。</p>	<p>7月21日の大王谷コミュニティセンター開催時から、スライドの資料を配布しました。</p>
<p>○水道料金</p> <p>なぜ、水道料金を20数パーセント上げなければならないのか。</p>	<p>水道事業は「独立採算制」により事業を運営しています。そのような中、平成8年に料金改定を行って以来、業務の効率化により経費節減に努め、現行料金水準を維持してきましたが、今後は水道施設の耐震化や老朽管路の更新に多額の費用を要することを見込んでいるためです。</p> <p>値上げしても県内平均以下の料金であり、安全安心な水の提供を続けるために、市民の皆様のご理解をお願いいたします。</p>
<p>○水道水の異常</p> <p>今年に入って、家の水道のカートリッジがすごく汚れていた。新しいものに変えても汚れていたので、水道課にも連絡したが、気になっている。</p>	<p>水道水の水質については、日々適切な管理に努めており、その水質検査結果を毎月ホームページ上に公表しています。水質等で気になる場合は、水道課にご連絡ください。</p>

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録（要旨）

■開催日時 令和4年7月21日(木) 19:00～20:20

■開催会場 大王谷コミュニティセンター 参加者数 23名

意見	市の考え方
<p>○お倉ヶ浜総合公園整備について（東郷メディキット中島会長からの寄付について）</p> <p>市70周年記念の際に東郷メディキット中島会長から5億円の寄付を受けたと聞いている。進捗状況は、どうなっているのか。</p>	<p>令和4年度は、野球連盟等の関係団体との意見交換や施設設計に取り組むとともに、国庫補助金等に関する県との協議を行い、令和5年度の工事着手を目指しています。</p>
<p>○プロ野球誘致について</p> <p>商工会議所が中心となって、楽天の一軍キャンプを誘致する運動を行っているので、お倉ヶ浜総合公園を整備することも必要である。</p>	<p>本市では、現在、東北楽天ゴールデンイーグルスをはじめパナソニック、NTT西日本の社会人チームが春季キャンプを行っています。</p> <p>今後は寄付者の意向を尊重し、地元の児童生徒が、のびのびとプレイ出来ることはもとより、プロ野球等のキャンプも十分実施出来るように、整備を進めていきたいと考えています。</p>
<p>○細島港整備について</p> <p>細島工業港全体の今後の整備計画はどのようになっているのか。</p>	<p>現在、沖防波堤、白浜地区国際物流ターミナル（16号岸壁／木材用）及び工業港地区複合一貫輸送ターミナル（19号岸壁／RORO船用）の整備が進められています。また、県の「細島港 港湾計画」に位置付けられている18号、20号、21号岸壁の整備に向け、関係機関と連携しながら、国県への積極的な要望活動を行っています。</p>
<p>○グラウンドゴルフ場について</p> <p>県外からの観光客誘致のため、グラウンドゴルフ場の整備やそれとタイアップしたホテルへの支援はできないか。</p>	<p>本市では、日向サンパークの芝生広場や日向岬グリーンパークを活用して、グラウンドゴルフを楽しんで頂いている状況です。</p> <p>この芝生広場を日向サンパークの魅力の一つとして、旅行者の皆さまに楽しんで頂きたいと考えています。</p>

意見	市の考え方
<p>○亀崎中区公民館建設について</p> <p>亀崎中区公民館について、老朽化し、手狭になっていることから、行事等の際に支障が出ている。防災避難所も兼ねて、亀崎近隣公園への移転を要望しているが、都市公園法等の問題で、進んでいない。全国的には可能な自治体もあるようなので、日向市も前に進めてもらいたい。</p>	<p>都市公園は、一般公衆の自由な利用に供する公共施設であることから、自治会（区）及び、周辺住民の方からも望まれる公園環境の保全に向けて検討します。</p>
<p>○国民スポーツ大会について</p> <p>宮崎県での国民スポーツ大会が正式に決まったと聞いたが、競技を誘致する際は、どのような施設が必要なのか。</p>	<p>日向市では、ビーチバレー、ソフトボール、軟式野球が行われます。正式決定ではありませんが、バスケットボールについても依頼が来ており、その際は総合体育館も活用できればと考えています。また、サーフィン競技についてもオープン競技として実施されれば、手を挙げることは可能だと考えています。</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ビーチバレーボール・・・お倉ヶ浜海水浴場 ◇ソフトボール・・・お倉ヶ浜総合運動公園（4会場） ◇知的障がい者競技（ソフトボール）・(同上会場) ◇軟式野球・・・お倉ヶ浜総合公園野球場 ◇サーフィン競技（デモ競技）・お倉ヶ浜海水浴場 ◇バスケットボール・・・市総合体育館ほか【予定】 <p>令和5年度に実行委員会を立ち上げ、具体的な準備を進めていくと同時に、各施設とも、令和8年度に開催されるリハーサル大会に対応できるように、整備を進めていく方針です。</p>
<p>○サンパーク温泉について</p> <p>サンパーク温泉は、もう一度復活しないのか。</p>	<p>サンパークの温泉館については、採算性やコロナ禍の影響等で休館せざるを得ませんでした。ロケーションの素晴らしさなどから、無償譲渡に興味をもたれている事業者もいます。条件を検討しながら、なるべく早い時期に再開できるよう取り組んでいきたいと考えています。</p>

意見	市の考え方
<p>○総合体育館整備について</p> <p>アンケート結果を見させていただいたが、総合体育館をつくっても、利用はあまりないのではないか。いろんな箱物をいろんな地域で作って、結局あまり利用されないまま、老築化して終わっていくのがほとんどではないか。税金だけ大きくなって、借金だけ抱えることがほとんどだと思う。きちんとした税金の使い方、今まであったものをしっかり活用して、もう一度考え直してほしいと思う。</p>	<p>体育館は、昭和 60 年から令和 2 年まで 9 回の要望があり、令和元年度は 1 万 9,000 人以上の方が署名、要望されたという経緯があります。</p> <p>アンケートは、3,000 人に送付して 818 人の回答があり、約 7 割の方が賛成でした。</p> <p>この結果は、統計学的には高い信頼度であるものと認識しています。</p> <p>また、様々な災害に対応する中で、高齢者や障がいを持たれている方を含め、中長期的に避難できる災害拠点施設として、市民の健康増進のための施設、スポーツランドみやぎとしての経済効果など、それを活用する方法も踏まえて、検討しています。</p>

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録（要旨）

■開催日時 令和4年7月26日(火) 19:00～20:35

■開催会場 日知屋公民館 参加者数 28名

意見	市の考え方
<p>○ボランティアごみ回収について</p> <p>ボランティアごみの回収について、海水浴場、黒田の家のごみの回収は、申請書を出して回収してもらっている。地区から区のボランティアがごみの回収の要望を出しても良い返事がもらえない。何か縛りがあるのか。</p>	<p>海水浴場等のボランティアごみの回収は、年間に約120回出動し、約19tを回収しています。</p> <p>道路や公園の草刈りについては、どういう形で対応できるかなど、協議を行っていきたいと考えています。</p>
<p>○避難所、避難場所について</p> <p>避難タワーは1万人収容可能になったと資料に載っている。避難タワーは、一時的な避難場所であって、ずっといるわけではない。二次的な避難場所の考えはどうなのか。</p> <p>また、総合体育館を災害時に避難所として活用とのことだが、日知屋公民館は津波が来た時に使えるのか、どう考えているのか。</p>	<p>総合体育館は、中長期的な避難所（二次避難所）として想定しており、そのほか、各地区の二次避難所としては、津波等の被災の状況を見ながら、学校施設等の活用を考えています。</p> <p>日知屋公民館周辺は、2m～5mの津波浸水が想定されているため、被災状況を見ながら安全が確認できた場合において避難者を受け入れることとなります。</p> <p>また、避難にあたっては、地域のエリアで避難していただき、コミュニティを壊さないようにする必要もあると考えています。災害の状況により、長期的な避難が想定される場合には、仮設住宅建設や公営住宅なども活用する予定としています。</p>
<p>○区未加入世帯について</p> <p>区加入について、地域では、門前払いを受けるなど嫌な思いをしながら勧誘活動を行っている。未加入者も恩恵を受けているのに分かってもらえない。入っても入らなくても同じなので区から抜ける人もいます。行政の手が届かないところを区が担っていると理解している。加入要請を、市として、もう少し強く押ししてもらっていいのではないか。</p>	<p>各区のご協力により、区加入世帯に対しては、市広報紙の配布や市政に関する様々な情報の周知がなされています。</p> <p>また、毎年6～7月の区加入促進月間では、区長をはじめ役員の皆様のご尽力により、区未加入世帯への訪問に取り組んでいただき、多くの加入実績が上がっています。市でも、職員自ら、アパート等に区加入促進チラシを配布するなど、新たな取組を始めていますが、引き続き、区長公民館長連合会や宅建業協会等と連携しながら、区加入促進に努めていきます。</p>

意見	市の考え方
<p>○ごみ問題（クリーンステーション）について</p> <p>クリーンステーションの場所を区で選定しても、設置を了承してもらえない。お借りした場所は、ステーションをきれいにしよう草刈り、掃除している。</p> <p>また、ステーションは区未加入者も使用する。ルールを守らない人は、未加入者ではないかと考えている。迷惑をこうむるのは区加入者の方で、いろんな意見が出ている。区加入者を増やすためにいろいろやっている。また、アパートの住人は多くが未加入者。区加入は、判例でも強制ではなく任意との結果が出ているのは知っているが、このままでは自治会自体の存続が難しい。</p>	<p>区に未加入であることを理由に、クリーンステーションの使用を制限することは難しいと考えています。</p> <p>区の加入、未加入に関わらず、ゴミ出しのルールを守っていただくことが重要であり、市でも個別に指導を行っているところです。</p> <p>一挙に解決することは難しいことから、地道に取り組みを進めていきたいと考えています。</p>
<p>○避難所の Wi-Fi について</p> <p>Wi-Fi 設備について、災害発生時は、公民館や学校に避難する。その際、災害情報や安否情報など情報のやり取り重要になる。公共施設は Wi-Fi が使える環境であるのか。</p>	<p>公共施設の Wi-Fi 整備については、公共施設の利便性向上を図るため、優先順位を付して、年次的に整備していくことにしています。</p> <p>令和4年度は、指定避難所にも活用する中央公民館、日知屋公民館、大王谷コミュニティセンターを整備する予定です。</p>
<p>○災害時の避難所の対応について</p> <p>以前、避難勧告が出て日知屋公民館に来たら、満員で追い返された。ここに来るまで満員であることは知らず、日知屋小学校に避難してくれと言われた。防災無線でも言わなかった。この公民館の西側入口の鍵も閉まっていた。福島浪江町の女性職員は、身体をはって市民を守ろうとしたと聞いている。日向市の職員にも緊張感を持ってほしい。</p>	<p>開設避難所や収容人数、避難者状況などは、市ホームページ等で確認できるようにしていますが、様々な手段で、情報を発信していかなければならないと考えています。</p> <p>現在、感染症対策として、避難所の収容人数を制限しており、日知屋公民館が満員となった場合は、隣の児童館を開放することとしています。また、避難所入口については、風雨の状況により、避難者の安全を考慮し施錠したところです。</p> <p>避難所担当職員の対応については、要配慮者への対応も含めて、毎年避難者の受入方法などの研修を行っており、引き続きスキルアップに努めていきます。</p> <p>また、配慮を要する避難者がある場合は、担当職員にその旨伝えていただきたいと思います。</p>

意見	市の考え方
<p>○パークゴルフ場の整備について</p> <p>パークゴルフ場は、山田町や西都市などで整備が進んでおり、高齢者がいきいきとしている。財政が厳しいと思うが、パークゴルフ場の整備について、検討してほしい。</p>	<p>パークゴルフについては、高齢者の健康づくりという視点では、大変、有効であると考えていますが、広大な整備用地の確保や財政的な課題等もあり、現時点では、実現が難しい状況となっています。</p>
<p>○産婦人科医の確保について</p> <p>産婦人科は市内に1か所しかない。ほとんどの妊婦さんは延岡に通っていると思う。今後、市内から産婦人科が無くなったらどうするのか。日向市出身ドクターがいたら引っ張ってくるとか、ご尽力いただきたい。</p>	<p>市内では、現在、分娩を取り扱う産科は1か所となっており、県全体でも他県と比較して産科医は不足している状況にあります。</p> <p>このため、県北地域（周産期医療圏）では、県立延岡病院を中心とする連携体制が構築されていると伺っています。</p> <p>また、県においては、宮崎大学等と連携して医師のキャリア形成支援と一体的に安定的な産科医の育成・確保に取り組まれています。</p> <p>市としても、引き続き、同大学との関係構築に努め、本市にゆかりのある医師や医学生へ情報提供を行うなど、産科医療機関の維持に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>○観光施設の経済対策について</p> <p>細島の「スケルッチャ！」は観光客が増えているが、お金が落ちる仕組みは考えないのか。</p>	<p>コロナ後の観光需要の回復を見据えて、新たな誘客施設として「スケルッチャ！」を整備しました。</p> <p>ポストコロナ観光戦略においても、重点施策の一つに、観光消費額拡大に向けた新たな滞在型観光コンテンツの開発を掲げており、観光客を宿泊につなげ滞在時間を伸ばし、観光消費の拡大につなげていく取り組みを進めています。</p>
<p>○総合体育館整備について</p> <p>総合体育館について、42億円の体育館をつくる計画になっているが、何でこんなに高いのか。できた後にメンテナンスでお金がかかるが、どう考えているのか。サッカー場、野球場、温泉、すべてメンテが中途半端。(体育館建設は)中止できるなら考え直してほしい。情報が行き届いていないので、財政面の話をしてほしい。</p>	<p>なぜ今なのかというと、南海トラフ地震が40年の間に9割の確率でくると言われている中で、市民の命を守る必要があります。一次避難所として、避難タワーの整備や民間施設をお借りしている中で、中長期的な収容人数が大きな施設がないので、総合体育館は中長期的な避難所として整備したいと考えています。</p> <p>また、昭和60年から令和元年までに市民や団体から要望や令和元年には19,000人の署名もいただいています。今の施設は耐震性がないことから、安全安心な場所で運動していただきたいと思います。</p>

意見	市の考え方
	<p>総合体育館については、広報ひゅうが等で情報を発信していますが、行き届いていないのは反省点と考えています。市の情報は、広報紙やホームページなど様々な媒体で発信しますので、情報をキャッチしていただけるとありがたいと思っています。</p> <p>財政シミュレーションについては、他の事業も加味して分析し、体育館を整備しても、現状の中では、財政運営に大きな影響はでないと判断しています。今後も、国の補助金等の活用により市の実質負担額の軽減に努め、計画的な財政運営を図っていきたいと考えています。</p>

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録（要旨）

■開催日時 令和4年7月28日(木) 19:00～20:50

■開催会場 美々津公民館 参加者数 26名

意見	市の考え方
<p>○「運命のレシピ」の今後について</p> <p>「運命のレシピ」について、市長は今後も継続してやっていきたいと言われていたが、コロナ禍も含めて、どう思う考えなのか。</p>	<p>運命のレシピについては、関係者からの要望もありましたが、コロナ禍で開催が出来なかったことは理解していただきました。</p> <p>今後も、新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら、令和5年度以降の開催について検討していきたいと考えています。</p>
<p>○農薬の散布について</p> <p>農薬の散布について、田んぼの季節には、小さいヘリコプターが農薬を撒いており、その状況を数年見てきたが、いきなり撒き始めて、終わったらなくなるのを繰り返している。他市では、周辺住民への事前周知として、目的、日時、時間帯、農薬の種類等の記載や近隣住民へ配慮することになっている。農薬と人間が上手に共存していく方法はあると考えるが、日向市の現状と今後の対策を教えてください。</p>	<p>本市では、これまで農薬散布に関する注意喚起を行っていませんでしたが、他自治体を参考に、農林水産省や環境省の農薬散布に関するチラシを添付して市ホームページに掲載し、注意喚起を行いました。</p>
<p>○美々津小中一貫、移転について</p> <p>美々津小中一貫校の移転について、H15年以前から言っているが一向に進まない。先般大きな地震、津波があったが、このことをどう考えているか。美々津小、寺迫小、美々津中の子どもたちを助けられるのか。庁舎の建設、体育館の建設、いつ美々津をしてくれるのか。いっぺんにしてもらえないか。小中学生は、新学期に一生懸命、避難訓練をしている。前向きに小中一貫校に取り組んでほしい。</p>	<p>市議会でも答弁していますが、南部地区の美々津中学校・美々津小学校・寺迫小学校の小中一貫校については、整備の時期など具体的な計画を示せる段階にはありませんが、市内の他の学校よりも優先して、小中一貫教育校として整備したいと考えています。</p> <p>学校施設の在り方や通学区域の見直しについては、今年度、庁内の検討委員会を設置して具体的な検討を進めることにしており、令和6年度までには通学区域審議会等を設置し、協議した上で、市としての基本的な考え方をお示ししたいと考えています。</p>

意見	市の考え方
<p>○特定空き家について</p> <p>美々津伝統的建造物群保存区域内に破壊されている建物がある。特定空き家は、危ない家屋や景観を壊す家屋などが指定されると聞いている。これから台風が多くなる季節。台風で屋根が飛んで玄関を壊されたこともあった。誰が住んでいるか分からないから自己負担で修繕した。市として先進的に取り組んでほしい。どう考えるか。行政代執行が無理なら他に対策を講じてほしい。</p>	<p>倒壊等により周辺へ悪影響を及ぼすおそれのある空き家については、特定空き家に認定し、指導、勧告を行うとともに、解決へ向けて除却補助金等の支援を行っています。</p> <p>美々津地区においては、当該特定空き家を含む5件が除却されています。</p>
<p>○サンパークドッグランについて</p> <p>サンパークのドッグランについて、暑くて利用者がいない。雨が降ったら使えない。これまでどの程度の利用者があるのか。芝が伸びているので、刈り取って犬が快適に走れるようにすると飼い主も安心するし、木陰が欲しいので、屋根が欲しい。</p>	<p>ドッグランについては、通常、屋外に整備されており、その日の天候、気象状況により、利用者が増減しています。</p> <p>日除けのために、パーゴラを設置しましたが、屋外に整備している他のドッグランについても同様であると考えています。ドッグランの芝の管理については、指定管理者が定期的に芝刈りを行っています。</p> <p>また、利用者に優しい木陰や屋根などの整備については、利用者の方々のニーズも含め様々なご意見を伺いながら、今後の課題として考えていきます。</p>
<p>○庭田グラウンドドクターヘリの離着陸について</p> <p>庭田グラウンドは、ドクターヘリなどの離着陸場となっているが、猪や鹿の影響により荒廃している。着陸してから、砂の巻き上げや周りの建物に影響が生じる可能性がある。市長に要望書を提出したが、市が指定したわけではないので対応できないとの回答であった。ヘリのランデブーポイントは複数あっても良いのではないかと。行政の方で、整備をしてもらいたい。</p>	<p>庭田グラウンドは、私有地のため、整備計画はありません。南部地区で指定している公共の離着陸場は、南分遣所(旧幸脇小学校)グラウンド、美々津運動公園、美々津小学校、寺迫小学校となっています。</p> <p>しかし、緊急時はドクターヘリの機長の判断により、指定している場所以外にも離着陸は可能となっており、庭田グラウンドの位置付けは、どちらかというと後者に近い離着陸場と考えています。</p>

意見	市の考え方
<p>○避難所の整備について</p> <p>以前も要望したが、美々津の白山の整備を早くしてほしい。避難所の設置など、市街地に比べて全部美々津は遅れている。</p>	<p>津波浸水エリアからは、国道10号などの山手側に逃げられるよう避難経路の整備を行っており、美々津地区の避難所としては、美々津支所、美々津小学校、寺迫小学校等を指定避難所としています。</p> <p>また、津波避難ビルとして三股病院を指定しているほか、特別養護老人ホーム立縫の里と福祉避難所としての協定を締結しています。</p>
<p>○図書館整備について</p> <p>体育館よりも図書館を早くしてほしい。体育館は規模を小さくして、いろいろなところにお金を使ってもらいたい。</p>	<p>市の総合体育館は、当初の想定よりも規模を縮小して現在お示ししている規模となっています。</p> <p>図書館は作らないということではなく、現在の市の体育センターは耐震性がなく、南海トラフ地震が発生したときには、一定規模の中長期間の避難施設としても使用できる体育館建設を優先して行うということをご理解いただきたいと考えています。</p> <p>図書館の事業計画の策定や建て替え時期などの具体については、他の公共施設整備事業の進捗状況を考慮しながら検討していきたいと考えています。</p> <p>読書は非常に重要であると捉えているので、今後のまちづくりを見据えた、図書館の整備の在り方を考えていきます。</p>
<p>○サンパーク温泉について</p> <p>サンパーク温泉の早期再開をお願いしたい。</p>	<p>サンパーク温泉館については、採算性やコロナ禍の影響で休館せざるを得ませんでした。ロケーションの素晴らしさなどから、無償譲渡に興味をもたれている事業者もあり、条件を検討しながら、なるべく早い時期に再開できるよう取り組んでいきます。</p>
<p>○猫の避妊手術補助について</p> <p>美々津猫の会で猫の不妊手術の活動を行っており、清武まで、ボランティアで連れていっている。保健所とタイアップして、近くに手術ができるような施設を検討してほしい。</p>	<p>猫の避妊手術については、獣医師、会場やスタッフの確保、費用負担など様々な課題があることから、今後も、県と連携して、動物愛護行政に取り組んでいきたいと考えています。</p>

意見	市の考え方
<p>○総合体育館整備について</p> <p>体育館については作ると決まっているのか。決まっていなければ、小中学生を守るために、学校施設を高台に移転するとか、今の体育センターを作り直すとか、お金の使い方があるのではないか。</p>	<p>総合体育館については、令和元年度から市の広報紙などで情報を出してきており、体育館整備に関する市民アンケートや説明会等も行ってきました。様々な議論を踏まえて、基本計画を策定し、整備する方向で進めています。</p> <p>総合体育館は、体育センターでは開催できなかった地区大会等の会場として活用することや、災害時の避難拠点とすることなどを基本コンセプトに掲げています。</p> <p>そのため、武道場の建て替えも含め、基本構想でお示ししている施設規模の広さは不可欠と考えており、現敷地では建設用地が確保できません。</p>
<p>○総合体育館整備について</p> <p>なぜ大王谷なのか。建設には反対しないが場所を考えてほしい。市の文化交流センターも中央公民館も老朽化しているが、その場所に、図書館機能を含めた複合施設を作ることにはできないのか。文化交流センターは、文化施設で、駅、市役所もある、警察署も近いので、総合施設として整備を考えられないのか。</p>	<p>建設場所については、警察署跡地等の市街地も検討しましたが、津波の浸水区域であることや駐車スペースを含めて用地が不足し、近隣住宅への騒音の問題などの課題もあります。防災拠点としての位置づけから、津波が来ても浸水しない安全な場所、ドクターヘリの活用なども検討しました。</p> <p>費用の面では、中心市街地では土地の購入費用がかかり建設費が高むほか、大王谷運動公園は市有地で都市公園のため、国の有利な補助が見込めることなど、様々なことを総合的に検討した結果、大王谷運動公園になっていることをご理解いただきたいと思います。</p>

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録（要旨）

■開催日時 令和4年8月4日(木) 19:00～20:55

■開催会場 南日向公民館 参加者数 36名

意見	市の考え方
<p>○旧岩脇中学校跡地の有効活用について</p> <p>立地適正化計画に、平岩地区には、学校施設跡地の有効利用と書いてあった。校舎解体後の跡地利用について、体育館については、雨漏りがひどく補修やその後の維持費用が多額になるとの提案があり、解体やむなしと考えていたが、総合体育館建設の話が出てきたことから、区民から健康増進のため、体育館を存続してほしいとの流れに変わってきた。南海トラフ地震等の一時避難場所としても活用できることから、跡地利用について再度検討してほしい。</p>	<p>旧岩脇中学校跡地の利用については、地区の皆さんと一緒に6年前から議論してきました。今年度は校舎を解体しますが、体育館については、これまでの協議の経過を踏まえて、今後解体していくことについて、ご理解いただいていると認識しています。南海トラフ地震等の一時避難施設は、平岩小中学校が指定されていることから、そちらの活用をお願いします。</p> <p>旧岩脇中学校のグラウンドについては、校舎の解体中は制約があるかもしれませんが、今のまま残すという形で考えています。解体後の利用についても、地区の皆さんのご意見を伺いながら、整備を進めていきたいと考えています。</p>
<p>○既存道路の適切な維持管理について</p> <p>平岩地区は、国道10号以外には、飯谷から曙に繋がる市道しかない。津波避難時に、高台へ避難することになるが、市道の法面が脆弱で不安を感じているため、しっかり整備をお願いしたい。</p>	<p>平岩地区における道路整備については、「南日向日の平線」、「靱木線」の改良工事を実施しており、今後も、早期完成を目指し、年次的に整備を進めていきます。道路の維持修繕については、定期的なパトロール等に努めながら、必要性が確認された場合、対応していきたいと考えています。</p>
<p>○金ヶ浜ビュー園地整備について</p> <p>金ヶ浜ビュー園地については、県からの補助で、金ヶ浜区壮年部が通年整備している。今春ネモフィラを植えたところ、取材も多く好評である。先月から、県の方で駐車場の拡張工事が始まったが、トイレや水道施設がないのが課題である。花の生育のためにも、市の方でトイレ、水道施設の整備をお願いしたい。</p>	<p>これまで、地元の方と協働で策定した整備計画に基づき、施設整備を推進しています。</p> <p>トイレや水道施設の整備については、国定公園内の「県有地」であることから、今後、県と協議していきたいと考えています。</p>

意見	市の考え方
<p>○平岩農村公園の整備について</p> <p>平岩農村公園について、小中高校生がソフトやサッカーで利用したいと要望があるので、防球ネットを整備していただきたい。また、駐車場などにも不安を感じているので、使い勝手の良い公園として整備していただきたい。</p>	<p>農村公園は、地域住民の憩いの場として設置された公園であり、農村地域の交流促進や健康増進の場として活用いただいております。</p> <p>現在のところ、さらなる整備計画は予定していませんが、今後とも有効にご活用いただきたいと考えています。</p> <p>また、駐車場については、グラウンド内に新たに駐車スペースが設けられないかなど地元地区の皆さんと協議したいと考えています。</p>
<p>○市道の白線整備について</p> <p>渡辺病院から国道 10 号までの市道について、白線が薄くなっており、危ない。夏休み期間中に早急に引き直してほしい。</p>	<p>現地確認の結果、山側の白線が薄くなっていることを確認しましたので、令和4年度の交通安全施設整備事業により、白線の引き直しを行います。</p>
<p>○市営住宅跡地の草刈りについて</p> <p>渡辺病院の近くの市営住宅跡地の草が茂っており、草を刈ってほしい。</p>	<p>8月5日に現地を確認し、8月8日～9日に草刈りを実施しました。</p>
<p>○旧岩脇中学校跡地の有効活用について</p> <p>岩脇中学校跡地の運動場について、高齢者の遊び場として残してほしい。</p>	<p>運動場については、現在、市民の皆さんに無償貸与を行っています。今後とも意見を伺いながら、整備を進めていきたいと考えています。</p>
<p>○放課後子供教室について</p> <p>以前から要望のある放課後児童クラブ、放課後こども教室の拡充について説明してほしい。(市長より)</p>	<p>地元の皆さんから、放課後児童クラブの設置や放課後子ども教室の拡充について、これまでも要望をいただけてきました。</p> <p>この夏は、地元の皆さんのご協力を得て、サポーターとして6名ほど入っていただきながら、夏休み期間中、放課後子ども教室を開設することができました。</p> <p>放課後子ども教室の拡充については、地元の皆さんやサポーターの皆さんの協力なくしてはできないため、皆さんのご意見等を十分に伺うとともに、平岩まちづくり協議会とも連携しながら、保護者の皆さんの要望にできる限り応えていきたいと考えています。</p>

意見	市の考え方
<p>○市道の整備について</p> <p>鵜毛に通じる道路の痛みが激しく、建設課に補修してもらっているが、追い付かない状況である。仮舗装等、整備が出来ないか。現状を見ていただいて、工事をどうするかお話を聞かせていただきたい。</p>	<p>道路改良工事を計画的に行っていますが、事業の長期化が課題となっており、今後、道路通行上危険性が高い区間の整備を優先しながら安全性の確保を図っていきたいと考えています。</p> <p>また、未改良区間の舗装損傷個所については、維持補修工事により対応します。</p>
<p>○AED の設置について</p> <p>鵜毛の方に AED の設置が出来ないか。鵜毛分校跡地は避難所にもなっており、近年、交通事故や救急搬送も増加している。前向きに検討していただきたい。</p>	<p>現在、市においては、市内公共施設に 71 台の A E D を配置しています。また、自治会等から A E D の設置についてご相談があった際は、宝くじの収益金を活用した「日向市コミュニティ助成事業」の制度をご案内しています。</p>
<p>○美砂市営住宅空き室の活用について</p> <p>美砂市営住宅について、空き室が目立つ。市の方針で移住促進など出ているが、もっと活用ができるような方法を検討していただきたい。</p>	<p>美砂住宅は、97 戸中 3 割弱が空き家となっています。現状では、空き家を活用するために移住者の受け入れや林業大学校の学生寮として目的外使用を行っていますが、今後もさらなる活用を考えていきます。</p>
<p>○美砂市営住宅管理組合への指導について</p> <p>市営住宅の管理について、管理組合を作ったが、経営が厳しくなっている。人数が減っているため一人の役務・負担が増えているし、役務費を払わない人たちもいる。市では自治会に対して何も言えない、管理組合でやってくれというが、そこは市が入って、一緒に指導すべきではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、共益費の支払いについてのお願い文書を各住戸に配布しました。</p> <p>今後も、管理組合と協議しながら対応を考えていきます。</p>
<p>○お倉が浜海水浴場駐車場有料化について</p> <p>お倉ヶ浜海水浴場のビーチハウスの管理人をしているが、あそこに泊まっている県外車がいる。今 6 人が交代で管理人を務めているが、200 万円位の人件費がかかっている。駐車場を有料化すれば、財政面でも良いと考えているので、検討してもらいたい。</p>	<p>今年度下半期に、駐車場に隣接する私有地所有者に対し、有料化を検討していることについて、説明することとしています。</p> <p>また、有料化に向けた様々な課題については、利用者へのアンケートや地元区長、サーフショップ、サーフィン連盟等の関係団体との意見交換を実施することとしています。</p>

意見	市の考え方
<p>○総合体育館整備について</p> <p>ドッグランに1億円もかけているが、お倉ヶ浜駐車場など含めもっとお金を徴収したらどうか。美々津中学校の移転の件とか、そちらにお金をかけていくには、総合体育館については今建てなくても良いのではないか。</p> <p>総合体育館ではなくて、水道管などにお金をかけてほしいし、長期避難所というのであれば、各地区に作る方が良いのではないか。体育館整備後は、維持費があるが、どれくらいかかるのか。</p>	<p>サンパークについては、遊具等の経費を合せて約1億円であり、ドッグランの整備費は約800万円です。総合体育館については、財政シミュレーションで示したように、要望いただいたような他の事業も行いつつ、災害時に中長期避難所としての役割を担う体育館の整備を優先的に進めます。現在の体育センターや武道館の場所は、交通の利便性の観点から、都市計画道路を通すこととしています。そうした総合的なまちづくり・防災の観点からも、大王谷運動公園に整備したいと考えています。</p> <p>財政負担については、大王谷であれば立地適正化計画を踏まえた国の補助金などを活用し、総事業費42億円のうち、市の実質負担額を16億5千万円程に軽減できるものと考えており、維持費は約4千万円と試算しています。</p>
<p>○総合体育館整備について</p> <p>延岡に県立体育館が出来るのであれば、延岡に任せて、図書館など、市民のためにお金を使っていただきたい。</p> <p>プールについても、海水浴場は危ないので、つぶしてほしくない。総合体育館を使う人口はどれくらいいるのか。一部の市民のための総合体育館では困る。南部の人間は日向の方に避難できない。美々津、平岩地区は、避難のために何も無い。美々津中学校などかわいそうな状態。子どもたちの命を考えて、お金を使っていただきたい。</p>	<p>総合体育館は日常的なスポーツ活動、健康づくりの場としての利用を想定しています。</p> <p>図書館は耐震性がありますが、蔵書や閲覧のスペース不足等の課題があることから、新たな交流拠点としての役割を果たす複合的な機能を備えた整備について、今後、調査研究します。</p> <p>水泳場については、代替プールとして大王谷小学校のプールを開放し、その利用状況等を見極めながら、他の3か所の拡充等については検討したいと考えています。</p> <p>体育館の整備については、要望書が昭和60年代から提出され、令和元年度には1万9千人以上の署名活動がなされ、市民の皆様からの切実な要望として受け止めており、実現に向け現在取り組んでいるところです。</p> <p>南海トラフのリスクの中で、中長期的に避難する場所として、市民の皆さんの命を守らなければいけないということで体育館の計画をしています。美々津中学校の移転も前向きに検討しますので、併せて、ご理解いただきたいと考えています。</p>
<p>○サンパーク温泉の再開について</p> <p>サンパーク温泉館の復活が出来ないか。赤字であることは以前から分かっていたと思う。公園やコテージ、市内観光施設などを見ても、温泉館は必要なのではないのか。作った以上、コスト縮減を研究して再開してほしい。</p>	<p>サンパークの温泉館については、木質バイオマスボイラーの故障や灯油ボイラーの燃油代の高騰など採算性やコロナ禍の影響で休館せざるを得ませんでした。</p> <p>ロケーションの素晴らしさなどから、温泉施設としてのポテンシャルは高く、今後、民間の大胆な視点を取り入れた経営手法により、再出発できるよう、なるべく早い時期に再公募を実施したいと考えています。</p>

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録（要旨）

■開催日時 令和4年8月8日(月) 19:00～20:50

■開催会場 切島山1区公民館 参加者数 27名

意見	市の考え方
<p>○道路整備について</p> <p>重黒木自動車から日豊本線、そしてドラッグストアモリ道路の整備をして欲しい。財光寺中学校まで完全に抜ければ通学路・避難道として使えるのではないかと思う。また、切島山2区から財南小や財光寺中に行くのにも近くなる。</p>	<p>木原通線を含む都市計画道路の未整備区間については、早期の整備に向けて優先順位を付して、総合的に判断しながら、計画的に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>○避難山整備について</p> <p>避難山について、お倉ヶ浜運動公園近くの避難山は、なぜあの場所に作ったのか。避難山にはいかない、プロパンガス、木材が流れてくるということで、夜は怖いという声がある。なぜ、あそこに避難山を作ったのか。</p>	<p>避難山等の一次避難の施設については、津波来襲から避難できる時間を考慮して、市内の各所に整備しています。</p> <p>なお、切島山2区避難山は、避難山北側の住宅地とお倉ヶ浜運動公園を避難対象地域とし、避難にかかる時間を考慮して、現在の場所に配置しています。また、避難山の構造についても、津波の浸水深や想定流速等を計算して整備しています。</p>
<p>○お倉が浜運動公園の整備について</p> <p>お倉が浜運動公園野球場の整備について、企業からお金をもらって、今年度に設計するとのこと、令和6年度に完成するとのことだが、なぜ、もっと早くできないのか。</p>	<p>現在、施設設計を行っていますが、法的基準に基づいた施設の設計や工事の品質確保等も必要となり、また、国の補助金等の活用も考えていることから、協議などに一定の時間が必要な状況です。</p>
<p>○図書館整備について</p> <p>図書館について、他市町村と比較して非常に寂しい。今後の整備の構想は無いのか。高校生も勉強する場所がないし、成績のいい子たちは市外の高校に行っている。ぜひ、図書館を作ってもらいたい。</p>	<p>現在の図書館については、築55年が経過し、老朽化が進んでいることや、施設が手狭で十分な蔵書スペースが確保できないなどの課題があることから、令和3年2月に策定した「第2次日向市総合計画・後期基本計画」の中で、新たな交流拠点として、複合的な機能を備えた図書館の整備について、調査研究に取り組むことを明記しています。</p> <p>図書館の事業計画の策定や建て替え時期などの具体については、他の公共施設整備事業の進捗状況を考慮しながら検討していきたいと考えています。</p> <p>また、建設場所については、市民ニーズの把握に努めながら、利便性の高い場所への整備に</p>

意見	市の考え方
	<p>向けて検討していきたいと考えています。</p> <p>高校生が市外に出て行っていることについては、非常に心配しており、市の魅力向上ということで、市内の県立高校への支援も行っているところです。今後も市内の高校と連携することはもちろんのこと、県教育委員会とも協議していきたいと考えています。</p> <p>読書は非常に重要ですので、今後のまちづくりを見据えた、図書館の整備の在り方を考えていきます。</p>
<p>○自治会未加入対策について</p> <p>市では、自治会の未加入者対策をどう考えているのか。特に市営住宅や県営住宅の脱退、区加入への関心の薄さがひどい。自治会が管理しているごみステーションに、自治会に入っていない人も捨てている。この辺をきちっと約束事を作っていただき、加入促進を図ってほしい。</p>	<p>市営住宅の入居希望者や入居者に対しましては、入居申込や収入申告の際に、チラシ配布により区加入促進を行っているところです。</p> <p>各区においては、様々な面で、市の業務にご協力いただいている中で、区未加入世帯の対応に大変苦勞されていることは、十分認識しています。</p> <p>市も、区加入促進の新たな取組を始めておりますが、引き続き、区公連や宅建業協会等と連携しながら、対策を図っていきます。</p>
<p>○日向市の魅力発信について</p> <p>15年前に移住してきたが、日向愛を育むために、日向の環境の中で遊んでほしいと思っている。日向市の最高峰に上ったことがある方はどれだけいるのか。坪谷の万吉山1316mある。日向には素晴らしい自然の魅力がたくさんあるので、ぜひその中で遊べるようになってほしいなという思いがある。</p>	<p>本市には、海山川といったすばらしい地域資源があり、県内外の方に旅行先や移住先の選定につなげることができるよう、引き続き多様な媒体を活用しながら、効果的な情報発信に取り組んでいきます。また、自然を満喫できるような新たな体験型コンテンツなども現在、民間事業者の皆さんと連携しながら造成しているところです。</p>
<p>○小中学生タブレットについて</p> <p>学校教育のタブレットについて、私の子どもも使っているが、難しい、目が疲れるなどと聞いている。本当にタブレット教育がいいのか疑問である。国の政策かもしれないが、これで学力が伸びるのか、健康は大丈夫なのか、検証していただきたい。</p>	<p>タブレットについては、日本の子どもたちのタブレットを使う能力が、世界規模の調査で、先進諸国の中で最下位であったことから、国の政策として、一人一台のタブレット端末が配布されることになったものです。心配されるように取り扱いが難しい面もありますが、子どもたちの能力は非常に高く、スムーズに使えています。</p> <p>これからの社会においては、これらのICT機器が必須のものであり、これらの機器を効果的に活用しながら学習を進めたり、一人一人の学習の進度や能力に応じた、個別最適化された</p>

意見	市の考え方
	<p>学習などを通して、学力向上に繋げようとしているところです。</p> <p>目が疲れるといった点なども懸念されていますが、授業の中では1時間中、連続して使うということはありません。学校においても、今後も連続して使わないことや、遠くを見ることなど、対策を講じながら使用していきたいと考えています。</p>
<p>○学校体育館の整備について</p> <p>学校の体育館の雨漏りが市内の学校で数か所ある。昨年から学校の方に要望している。また、仕切りネットについても老朽化しており、許可を得て自分でできる所は対応している。学校の先生には要望しているが、なかなか改善できないところもあるので、雨漏りなどは早急に対応していただきたい。</p>	<p>市内には小中学校が20校あり、体育館そのものの築年数が古く老朽化しているものをはじめ、雨漏りや備品等の不具合など、様々な整備の要望をいただいています。</p> <p>学校から雨漏り等の連絡や、防球ネットなど体育器具等の破損についての連絡があった場合には、その都度職員が現地を確認し対応しています。</p> <p>それぞれの状況を確認した上で、優先順位をつけながら、修理や取り替えを年次的に実施し、児童生徒が安全に学習できるように進めているところです。</p>
<p>○大王谷運動公園プールについて</p> <p>体育館について伺うが、大王谷のプールを埋めて体育館を作るのは、地元の人々の泳ぐ機会を奪うことにならないのか。体育館に42億円かけるなら九電の石並川の遊泳場所に架かる予定の鉄塔を迂回させていただきたい。</p>	<p>大王谷の水泳場については、約60%が日知屋地区の方の利用となっています。</p> <p>体育館を整備して水泳場を無くす代わりに、小さな子どもが入れるレーンのある4か所の学校プールの活用を検討します。まずは、大王谷小学校のプールを開放し、その利用状況を見極めたいと考えています。</p> <p>以前は、保護者が監視員になって学校のプールで遊んでもらっていましたが、今は使われていないことから、監視員を行政で手当して、安全に遊べるようにしたいと考えています。</p>
<p>○総合体育館の整備について</p> <p>個人的に体育館は必要と考えているが、大王谷に必要なのか。補助金の関係で大王谷という認識でよいのか。プールに見学に行ったが、子どもたちが「プールがなくなると悲しい」と言っていた。資材高騰の折、大王谷でなくてもよいのではないか、考え直していただけないか。</p>	<p>大王谷運動公園は都市公園であり、立地適正化計画を踏まえた有利な補助金を使えることから、市の財政負担が軽減されるというメリットがあります。</p> <p>プールについては、先行して開放する大王谷小学校のプールの利用状況を見極めながら、市内4か所に分散して使えるよう検討し、夏休み期間中に、子どもたちがプールで遊べるような状況を、ぜひ作っていききたいと考えています。</p>

意見	市の考え方
<p>○総合体育館の整備について</p> <p>自分も長年スポーツ少年団の指導をしてきているが、体育館が正規のコートが作れず、悩みであった。いろいろな意見があるかと思うが、子供たちのためにも、正規の広いコートが取れる体育館を作ってほしい。</p> <p>海の災害だけでなく、その他の異常気象等に対しても、体育館を利用した避難施設という点でも大切だと思う。</p>	<p>少年団の指導について長年のご尽力に感謝します。アリーナについては、公式試合ができる基準で整備します。</p> <p>総合体育館については、災害対応も含めて、市民の皆さんにご理解いただけるように説明していきたいと考えています。</p>
<p>○総合体育館整備について</p> <p>財光寺に避難山がいくつかあるが、財光寺の方は避難するののか。財光寺南小学校も海に近いが、山の方に逃げるのではないか。総合体育館について、令和4年度についてどれだけの予算がかかるのか。いろいろなところでお金がかかる事業があるのに、42億円の体育館を作る必要はないのではないか。避難所は、大王谷まで行けないので、各地区に作るべきではないか。令和4年度の予算も含めて、見直しをお願いしたい。</p>	<p>大規模地震による津波からの避難については、まずは高台や近くの避難タワー等で安全を確保していただき、自宅等が被害にあった場合などに、中長期的に避難する施設として総合体育館を整備するものです。</p> <p>体育館の整備を進める上においては、その他の事業も通常ベースでの事業費を確保した上で、財政シュミュレーションを行っており、他の事業をやらないということではありません。</p> <p>総合体育館の整備は突然でできたことではなく、平成28年の総合計画に位置づけをしてから6年経過しており、計画的に進めてきています。それぞれの課題については、行政として、しっかりと取り組みます。令和4年度の予算は、約4000万円の委託料です。</p>
<p>○産婦人科医の確保について</p> <p>ヘルシースタートについて、日向市の産婦人科はどれだけあるのか。日向市の人口にあった産婦人科医を確保して、安心した医療を提供できるようなまちづくりをお願いしたい。</p>	<p>市内には産婦人科を診療科目としている医療機関は3か所あり、そのうち分娩を取り扱う医療機関は1か所となっています。県全体においても、他県と比較して産科医は不足している状況にあります。</p> <p>このため、県北地域（周産期医療圏）では県立延岡病院を中心とする連携体制が構築されており、また、県においては、宮崎大学等と連携して産科医の育成・確保に取り組まれています。市としても、引き続き、同大学との関係構築に努めるなど、産科医療機関の維持に取り組んでいきたいと考えています。また、市では、ヘルシースタート事業の一環として、安心して妊産婦健診を受けていただくために、県内の産科医療機関であればどこでも使用できる、健診費用の助成券を交付しています。</p>

意見	市の考え方
<p>○こどもの夢サポート事業の拡充について</p> <p>夢サポート事業について、30万円は活用が1回だけだと思うが、スポーツ・文化芸術の面で県北と県南に格差がある。指導者の力はかなり大きいと思うので、県北レベルアップのためにも、素晴らしい指導者が日向市で継続的な指導が行われるようなまちづくりをお願いしたい。</p>	<p>子どもの夢サポート事業は、開始から5年目を迎えるが、毎年10数名の中からプレゼンしていただき、3名に絞り込んで本人の夢を実現させるべく、計画的な支援を行っているところです。対応できる職員の数の関係もあり、現在のところは3名を上限として行っているが、今後団体での取組など、新たな可能性も探っていきたいと考えています。</p> <p>県北のスポーツ・文化面での指導力の確保や向上を目指した事業ではありませんが、児童生徒の技術や技能のレベルアップとしての指導については、県教育委員会と連携を図りながら、専門的知識を有した指導員を招くなどの取組も検討していきたいと考えています。</p>
<p>○民生委員の担い手について</p> <p>民生委員がいなくて困っている。先日、永寿園が、お年寄りの見回りをしているのを見たが、区が委託してそういったことをやれないか。民生委員の仕事はたくさんあり、民生委員さんになれる条件もあって、勧誘するのはすごくレベルが高い。ほかの地区でも同じことが起こるのではと思っている。</p>	<p>民生委員は民生委員法において、法人ではなく個人(市町村議会議員の選挙権を有するもの)を候補者として推薦することとなっています。民生委員の担い手不足は以前からの課題であり、候補者が見つからない地区の区長さんが、大変ご苦労されていることは、市としても認識しています。</p> <p>そのため、区の集まりや候補者への説明などに市職員を派遣し、できる限りサポートをさせていただきます。</p>
<p>○国道10号の拡幅工事について</p> <p>10号線の拡幅工事はいつまでかかるのか。</p>	<p>事業主体である国において、工事現場内での諸調整を行いながら整備が進められており、近年中の完成と伺っています。</p>
<p>○美々津小学校の移転について</p> <p>体育館に42億円使うなら子供たちのために使ってもらいたい。美々津中学校の移転を早くしていただきたい。</p>	<p>美々津中学校は海拔6m弱のところに位置しており、南海トラフ地震の危険性を考えると、市内の他の学校よりも優先して整備を進めていく必要があると考えています。</p> <p>これまでも市議会でも答弁していますが、南部地区の小中学校については、美々津中学校・美々津小学校・寺迫小学校の3校を、小中一貫校として高台に整備することが望ましいと考えていますが、現在のところ、整備の時期など具体的な計画について示せる段階にはない状況です。</p> <p>学校施設の在り方や通学区域見直しについては、今年度、庁内の検討委員会を設置して具体的な検討を進めることとしており、令和6年度までには通学区域審議会等を設置し、協議した上で、市としての基本的な考え方をお示ししたいと考えています。</p>

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録（要旨）

■開催日時 令和4年8月10日(水) 19:00～20:25

■開催会場 東郷公民館 参加者数 27名

意見	市の考え方
<p>○区への財政措置について</p> <p>地域の高齢化が加速し、自治会の人材が不足している。東郷地域の今後の人口推計にびっくりしている。東郷地域振興計画の具現化には自治会の活動が重要。人的な面と財源の面が課題となるため、市の支援が必要になってくる。集落機能の維持のために財源措置を検討してほしい。</p>	<p>まちづくりの財源については、過疎債を活用し、毎年2,100万円を日向市過疎地域振興基金に積み立て、現在2億8,000万円程度の額があります。</p> <p>これはソフト事業にしか活用できないことから、地域づくりには、この基金を活用していきたいと考えています。ハード事業については、基金への積立とは別に、ハード整備のための過疎債を借入れ、整備を進めていくこととしています。</p> <p>令和4年度においては、1億6千万円程度を林道整備などに活用する予定としています。</p>
<p>○屋根付き運動広場について</p> <p>屋根付運動広場について、資産経営課による今後のあり方の説明があった。ある程度、市が整備して無償譲渡し、その後は区で管理してほしいという案と解体する案があり、現在、各区で今後のあり方の意見の集約を行っている。広場の稼働率、利用率は少ないが、それなりに利用している。他にも知恵を出せないか、解決できる方法はないかと、区で意見を求めている。市側でも、有効活用できるアイデアをつくっていただきたい。</p>	<p>屋根付運動広場は、建設から30年近く経過し、令和7年度から順次、耐用年数を迎える時期となっており、劣化が進んでいる状況です。</p> <p>継続して使用するには大規模な改修等も必要となることから、市内の他の公共施設と同様に「日向市公共施設マネジメント推進会議」等において協議を進めており、その説明の中で素案をお示ししたものです。</p> <p>今後、各区の班長会等に参加し、各区の利用状況や今後の考え方を伺い、ご意見を踏まえて、丁寧に関後の方向性を協議していきます。</p>
<p>○百姓一揆の碑 周辺整備について</p> <p>東郷学園の子どもたちは、百姓一揆の学習を行っている。最近、この碑を見たいと東郷地域振興課に色々問い合わせがあると聞いている。碑の回りの草がたくさん生えており、イノシシが掘り起こしている。まち協としても西城公園をにぎわいの場として整備していきたい。</p>	<p>西城公園の草刈りについては、業務を委託し実施しているが、草が伸びるのが早く、追いつかないのが実情であり、まちづくり協議会のご協力は大変ありがたく感謝いたします。イノシシの掘り起こしは、確認したところ、発見できませんでしたが、引き続き注視していきます。</p>

意見	市の考え方
<p>○移住対策について</p> <p>日向市の人口が減少しているので、移住対策を進めて、東郷にも人を呼び寄せてほしい。南海トラフ地震への対応、移住者向けも含めて住宅を建設してほしい。隣近所でも空き家が多くなっており、サーフィンだけではなく、東郷にも人を寄せ付けるようにお願いしたい。</p>	<p>本市は、昨年12月に策定した「第2期日向市移住・定住促進方針」において、移住のターゲットとして「サーフィンを目的とした移住希望者」に加え、「一次産業への従事を志す人材」等を設定し、総合戦略に掲げた目標（R6年度までに新たな移住者400人）の達成に向けて様々な施策に取り組んでいます。今後は、東郷町域内での「移住希望者向けお試し滞在施設」の設置についても検討を進めていきます。</p> <p>また、空き家の利活用を図るため、東郷町域など中山間地域の物件の掘り起こしを進め、家財処分や改修費用等の補助金による支援を行い、空き家等情報バンク登録を促進していきたいと考えています。</p>
<p>○東郷地区文化センターについて</p> <p>文化センターを今後どうするのか。地震があった場合は避難所として利用できると思うが、投資対効果、利用率を考えると、そろそろ結論を出してもよいのではないか。</p>	<p>東郷地区文化センターについては、現在のところ、市民吹奏楽団の練習会場として、毎月利用されていますが、その他にも、市が所管している文化財の保存場所や郷土資料室としても使用しています。しかしながら、老朽化も進んでいることから、現在、将来的な利活用について、関係する部署で検討を行っている状況です。</p>
<p>○避難所の整備について</p> <p>財光寺には避難山整備がされているが、東郷町では避難所までの距離が遠く高齢者を車で運ぶことに困難がある。</p>	<p>土砂災害や台風災害などの被害が想定される時は、早めの避難を呼びかけています。</p> <p>東郷地域は高齢者が多く、自助、共助の面で連携していかなければならないので、地区防災計画や個別避難計画書作成の中で、今後、しっかり協議させていただきたいと考えています。</p>
<p>○東郷地域振興計画周知について</p> <p>この計画を作成したことで、社協としても何すべきか、とても理解できた。しかし、この計画を知らない住民が多いと感じている。自分たちが東郷を今後どうしていくのか、計画の完成を住民に知ってほしい。</p>	<p>当計画の周知につきまして、去年は「かわら版」を7回発行し、計画策定に関する情報をお伝えしました。</p> <p>今年は、東郷地域の全10区を回り、完成した計画の説明や意見交換を行っています。引き続き、当計画の周知に努めていきます。</p>
<p>○交通弱者対策について</p> <p>交通弱者対策について、まち協や市と協議している。乗り合いバスなど、今ある地域資源がうまく使われていない。いかに活用していくかを協議してほしい。</p>	<p>地域の特性に応じた生活交通の維持が図れるよう、今年度に「日向市地域公共交通計画」を作成し、持続可能な地域公共交通のあり方を整理していきます。</p>